




今後の進め方(案)

2006年7月

1. 運用・実証実験の考え方

- 前方障害物情報提供等については、確立された技術であるため、本格運用に向けた試行運用を行い、社会的な受容性や効果を確認
- 合流支援等については、今後のIT新改革戦略の実証実験により実現可能性を評価
- 通信メディアについては、既に確立された技術の活用を基本とする

サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 前方障害物情報提供 • 前方異常情報提供 • 道路環境情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> • 合流支援 • 合流対象車両のアップリンク情報を活用した高度な合流支援（車路車間通信） • プローブ情報の収集と提供 	<ul style="list-style-type: none"> • 車々間を利用した通信サービス • 路車間通信・車々間通信を融合して実現するサービス
通信メディア	<div>5.8GHz DSRC</div> <div>その他のメディア (2.4GHz電波ビーコン、携帯電話、無線LAN等)</div>		車々間通信など他メディア

 : 実用化済みの確立された技術

 : 確立された技術であり、本格運用に向けた試行運用として展開

 : IT新改革戦略の実証実験で実現可能性を評価すべきもの

1 . 運用・実証実験の考え方



【サービスの提供方法】

- 従来の路側ビーコンから提供されている文字や簡易図形でのサービスは、センター処理された情報の提供
- 今回は、安全運転支援に関する情報を提供するため、危険箇所等において即地的に、迅速かつタイムリーな処理を行うことが必要

	路側ビーコン	5.8GHz DSRC	ETC
ローカル処理 (即地的に収集処理された情報を提供)	<ul style="list-style-type: none"> • 前方障害物情報提供¹ • 前方異常情報提供¹ • 道路環境情報提供¹ • 合流支援¹ 等	<ul style="list-style-type: none"> • 前方障害物情報提供¹ • 前方異常情報提供¹ • 道路環境情報提供¹ • 合流支援¹ 等	<ul style="list-style-type: none"> • 有料道路料金収受
センタ処理	<ul style="list-style-type: none"> • 文字情報提供 • 簡易図形提供 	- ²	<ul style="list-style-type: none"> • 有料道路料金収受

1 具体的な情報提供内容は今後検討

2 暫定的に提供を行うことも検討

1. 運用・実証実験の考え方

【運用・実証実験のスケジュール(イメージ)】

		2006年度 (H18年度)	2007年度 (H19年度)	2008年度 (H20年度)	2009年度～ (H21年度～)
ITS推進協議会 (IT新改革戦略)		夏 大枠決定	冬 詳細合意	秋	全国展開
実施地域	東京	検討 → 実験準備 → 社会実験(試行運用)	実験準備 ブレ実験	実証実験	本格運用
	A地域	検討 → 準備	実験準備 ブレ実験	実証実験	本格運用
	B地域	検討 → 準備	実験準備 ブレ実験	実証実験	本格運用
	C地域	検討 → 準備	実験準備 ブレ実験	実証実験	本格運用
	D地域	検討 → 準備	実験準備 ブレ実験	実証実験	本格運用
	全国				全国展開

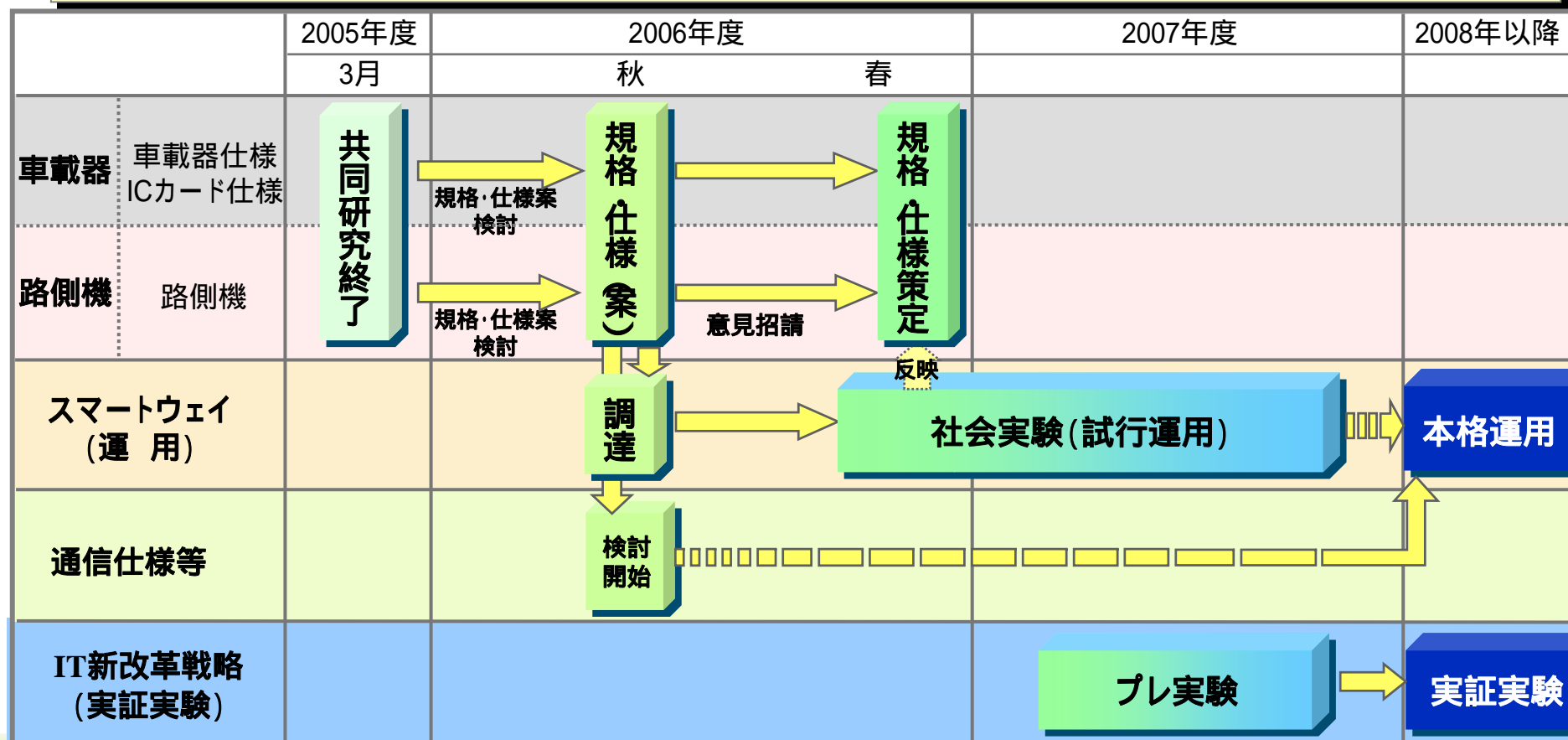
■ : スマートウェイ試行運用

■ : IT新改革戦略の実証実験も想定

2 . 規格化・仕様化の考え方

【規格化・仕様化のスケジュール】

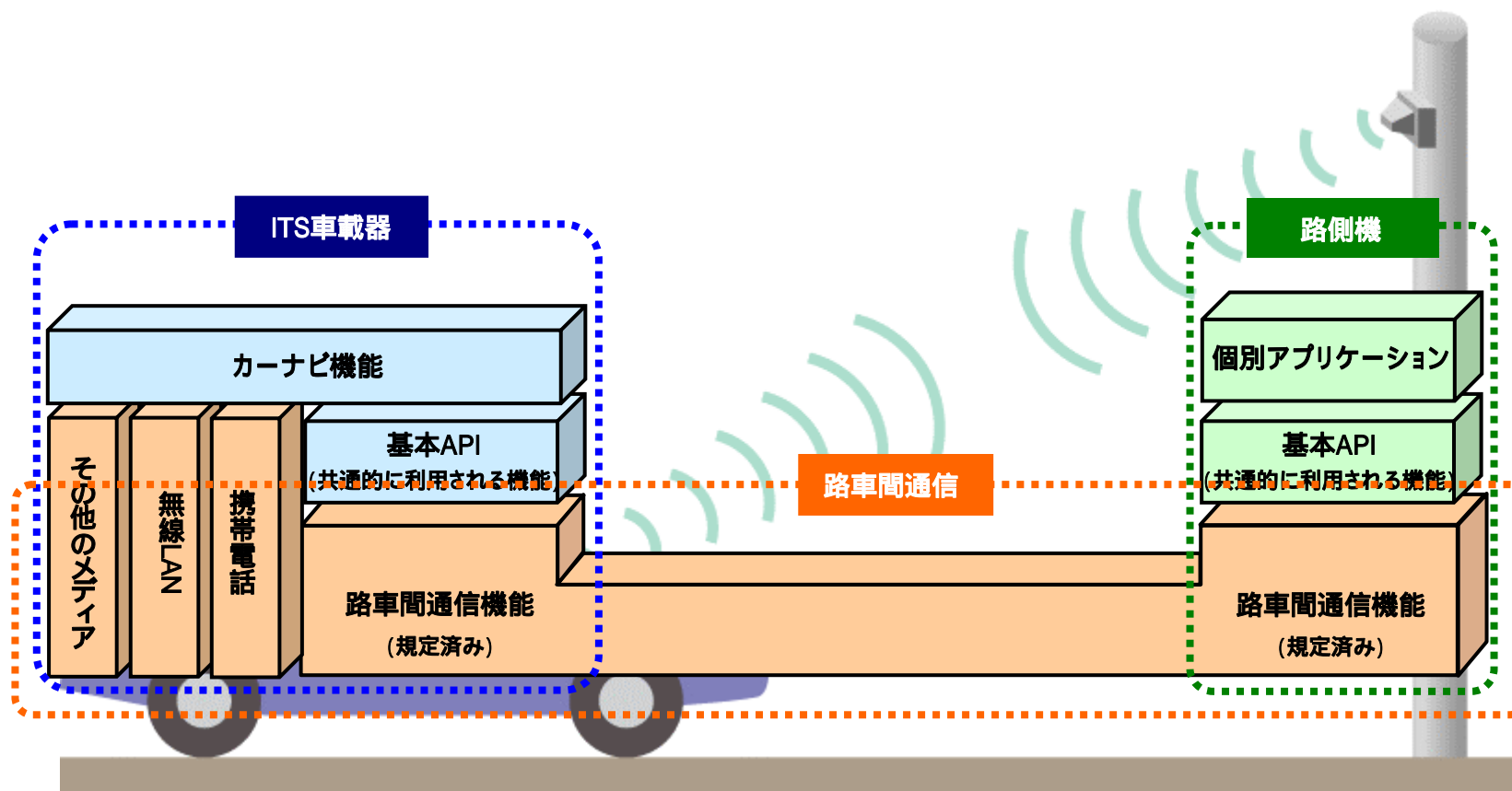
- 2006年秋頃を目処に規格・仕様(案)を作成
- 政府調達となる路側機、センタ等については、WTO政府調達協定をふまえ、規格・仕様(案)を公開して意見招請
- 規格仕様(案)に基づき、社会実験(試行運用)を実施
- 意見招請の結果等をふまえ、2006年度末を目処に規格・仕様を策定



2 . 規格化・仕様化の考え方

【規格化・仕様化の対象】

- 「次世代道路サービス提供システムに関する共同研究」において、2007年ITSサービスをはじめとした路車協調サービス実現のための技術資料を作成
- これらの成果を参考に、関係する民間団体等において規格等を策定中



2 . 規格化・仕様化の考え方



【規格・仕様の内容】

ITS車載器に関する規格

- (社)電子情報技術産業協会 (JEITA) において、「ITS車載器規格 (TTX-6001)」、「ITS車載器 DSRC部規格 (TTX-6002)」、「ITS車載器カーナビ部規格 (TTX-6003)」の3規格を策定中

路車間通信に関する規格

- 路車間通信については、(社)電波産業会 (ARIB) において、「狭域通信 (DSRC) システム標準規格 (ARIB STD-T75)」および「狭域通信 (DSRC) アプリケーションサブレイヤ標準規格 (ARIB STD-T88)」として規格化済み
- 基本APIについては、ITS情報通信システム推進会議において、「狭域通信 (DSRC) 基本アプリケーションインターフェイス仕様ガイドライン (ITS Forum RC-004)」として策定済み

路側機に関する規格

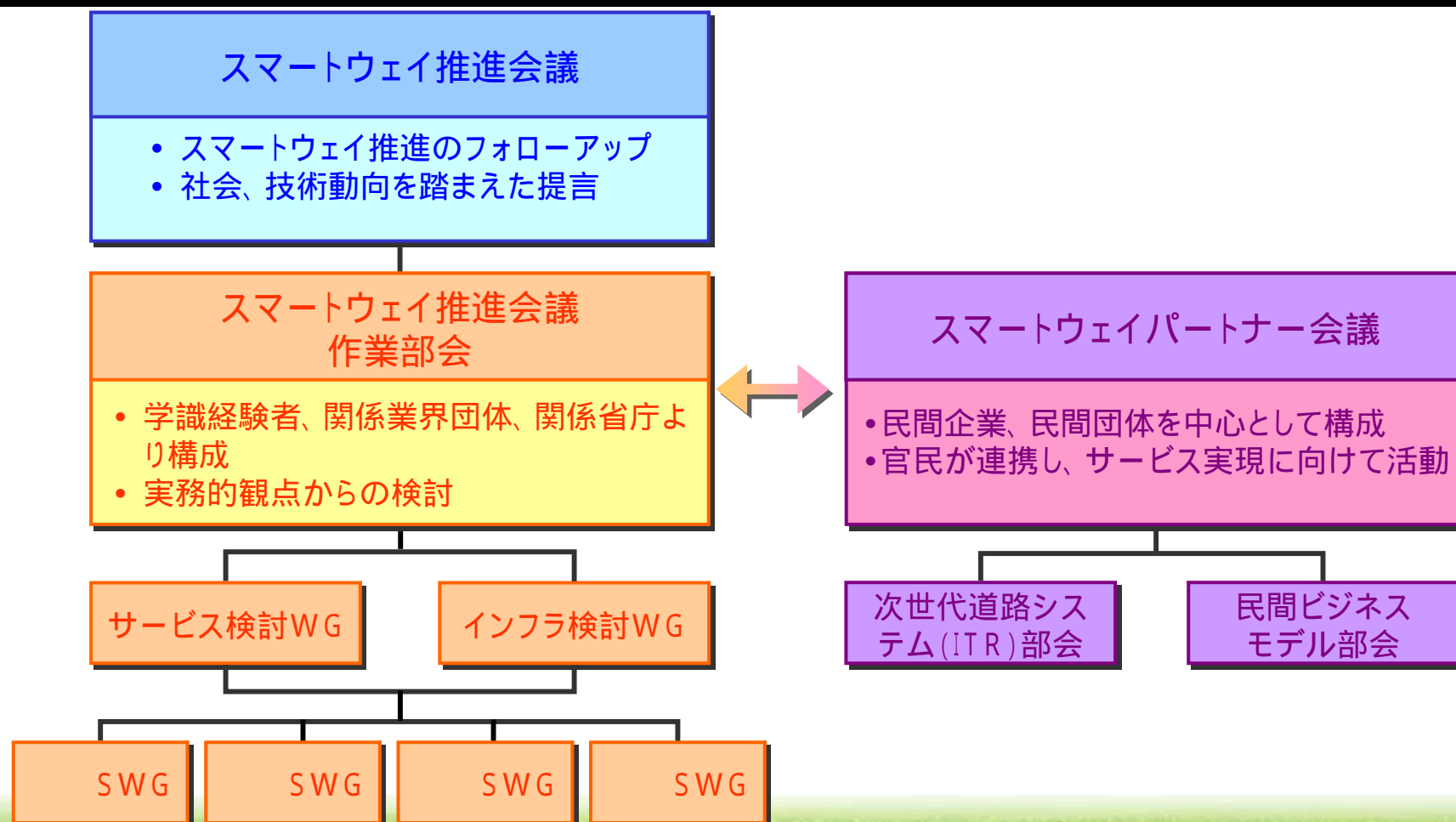
- サービスを行うための標準的な調達仕様および設置基準を策定予定
- 道路上における情報提供サービスに関する路側機等の仕様や設置基準について、既存のVICSに関する仕様を改訂予定
- 公共駐車場決済サービス等について、路側機等の標準的な調達仕様や設置基準を策定予定

3 . 今後の推進体制



【推進体制】

- 路車協調による安全運転支援をはじめとしたスマートウェイの具体化に向け、作業部会の下に適宜WGやSWGを設置して検討を行う
- さらに、作業部会とスマートウェイパートナー会議が連携し、スマートウェイの推進に係る官民連携を一層強化



3 . 今後の推進体制



【各WGの役割(例)】

[スマートウェイ推進会議作業部会内に設置する各WGの役割]

サービス検討WG

- ・メンバー : 道路局、国総研、自動車会社等
- ・検討内容 : 安全系サービスの具体的な内容、提供方法等について、車両、ドライバの視点から検討

インフラ検討WG

- ・メンバー : 道路局、国総研、道路会社
- ・検討内容 : 各地域における安全系サービスについてインフラの視点から検討

各SWG

- ・メンバー : 各SWGの内容に応じて選定
- ・検討内容 : 安全系サービスについて即地的な視点から具体的に検討

[スマートウェイパートナー会議内に設置する各部会の役割]

次世代道路システム(ITR)部会

- ・検討内容 : 官民共同研究成果に関連した技術課題について検討

民間ビジネスモデル部会

- ・検討内容 : ETC車載器やITS車載器を活用した民間ビジネスの検討